

事業の背景・目的

北潟湖自然再生事業実施計画に掲げる短期目標が令和4年度で終了し、令和5年度は短期目標の未達成部分の達成を目指す一年として、3つの事業の各目標を達成するため各種自然再生事業を実施した。

また、活動を行うなかで明らかとなった課題をどうしていくか、また中期目標の達成に向けてどのような取り組みを行うかについて、協議会委員の間で広く会議を行い、方針を検討する。

事業の内容

事業① 水質改善調査事業

- ・水門の制御による水質（塩分濃度）変動の詳細調査
- ・環境教育と連動した水質調査の実施
- ・水田からの濁水流入の状況を詳しく把握するため、地元の農業者に対して農法の聞き取りや農業排水の採水・分析を実施し、対策案を検討

事業② 希少種保全・再生事業

- ・鳥類の標識調査、センサーカメラ調査を実施
- ・ビオトープの管理、生きもの観察会の実施
- ・ウシガエル成体と幼生、アメリカザリガニを駆除
- ・希少種保全のための湿地草刈
- ・周辺小学校児童に対し、自然観察会及び出前授業を実施

事業③ エコ・グリーンツアー検討事業

- ・エコツーリズムの実施に向け、テーマを絞った素材調査
- ・エコ・グリーンツーリズム勉強会を実施
- ・これまでの調査事業等で把握した地域資源の情報を通年的に整理するため資源カレンダーを作成

事業④ 全体 ・会議運営（全体会（総会）×2回、部会開催×3回ずつ） ※リモートを活用したハイブリッド会議（Zoom）

得られた成果

- ①水質改善・調査事業
 - ・水質改善と生息環境保全を図るための水門管理を検討・調査し、実証的な調査を実施
 - ・地域内外の子どもたちが参加する水質調査イベントの実施
 - ・濁水流入防止を図るため、地域の稲作の実態を個別に聞き取り、対策案を検討
- ②希少種保全・再生事業
 - ・鳥類標識調査で23種を捕獲し、ノジコ等の希少な鳥類の飛来を確認
 - ・ため池や湿地で104匹のウシガエル成体、510匹のウシガエル幼生、155匹のアメリカザリガニ、16匹のアライグマを駆除
 - ・湿地の外来種等を刈取りコウホネ等を保全、周辺小学校の環境学習の場として活用
- ③エコ・グリーンツアー検討事業
 - ・エコ・グリーンツアーの実施に向け、テーマを絞った素材調査や講師を招いた勉強会を実施
 - ・地域資源の情報を通年的に整理するため資源カレンダーを作成・関係者で共有
- ④全体事業
 - ・感染症対策だけでなく、遠隔地の委員等の参加しやすさを確保するため、会議ではリモートを積極活用